

株式会社オーティーエスのご紹介

今回特集をさせて頂く株式会社オーティーエスさんは東京都江戸川区に本社を置くファッショント専門の物流会社です。一般的な物流会社と全く違う所は、ただ単に物流をするだけではなく海外生産のインポートの商品を本国のシステムと日本のシステムを連動させ、各国の洗濯ネーム表記を日本国内用に変更したり、世界一品質に厳しいと言われる日本基準に合わせた検品、そして縫製不良が有った場合は社内で縫い直す等、他の会社では決して出来ない対応をするファッショント専門企業のパートナーなんです。今や従業員は700人超、6カ所の物流センターを持つオーティーエスさんですが元々は田中洋現会長が1986年に立ち上げられたのが

始まりでした。

会長に起業時の思いを聞いてみました

どんな思いでオーティーエスを立ち上げたのですか？

1986年10月44歳のときに創業しました。それまでハンガー輸送をしている会社で働いていたのですが、その会社で新規事業としてオーティーエスを企画立案していました。でも突然設立

2ヶ月前に資金がかかりすぎるということで中止命令が出たんです。そんな時に自分が独立することに援助、協力をしてくれる方が現れました。自分の計画には自信が有ったので思い切って会社を興しました。ファッショント専門の物流アウトソーシングのはしりで、コンピューターの普及し始めた時でしたね。

順調な創業10年、その後倒産の危機

創業10年間は右肩上がりで不況しらずでした。でも12年目ぐらいからバブルがはじけて売上の3割以上を占める大口顧客が倒産したり、金融恐慌もおどぞれ一気に苦況に陥りました。売上も3割以上も落ち込み、銀行の貸し渋り、貸し剥がしにあり潰れてしまうのではないかと思いました。従業員みんなの頑張りでなんとか窮地を乗り切る事が出来たのですが、今まで会社をやつてきて幸運だと思うのは困ったら救世主が必ず現れる事、創業のときもそうだけど、大口顧客が抜けたあと必ず替わりのお客様が入ってきてくれる。そういう意味ではすごくついています。

創業20年で経営をバトンタッチ

社会を引き継ぐ上で何か不安はありましたか？

そして2006年に優一郎社長に世代交代、その時の思いを社長に聞いてみました

就任する前の不安はいろいろあります。経験不足の自分に務まるのかどうかということ、人が付いてくれるのかということです。当たり前ですが社長は初めてだつたため、何をしたら



海外の洗濯ネームを日本の洗濯ネームに付け替える作業



針等の混入がないかX線で1個1個チェック

